

市庁舎を彩る四季折々の花  
 『いけばな嵯峨御流』の心粋



華名  
**西保 淳甫** さん  
 (吉村 淳子さん)  
 (菅原町)

「花から元気を受け取ってほしい」と話すのは西保淳甫さん。旧嵯峨御所大覚寺、嵯峨天皇に端を発する伝統ある『いけばな嵯峨御流』で生け花を続け、平成11年に野々市市文化振興賞、平成26年に石川県文化功労賞、平成28年に北國芸術賞の栄誉に輝いています。市役所を訪れる人に笑顔になってもらえればと、平成17年の市庁舎落成から現在に至るまで、毎週欠かすことなく、門下生と協力しながら、無償で玄関ロビーに花を生け続けています。

**継続こそが財産**

私は京都の短大進学を機に部活で生け花とお茶を始めました。当初、花嫁修業

プロフィール  
 名前 にしほ じゅんほ  
 誕生日 8月12日  
 出身地 金沢市  
 野々市に住んで約40年  
 趣味 南画、旅行

と考えると始めたのですが、60年も続きました。今があるのは華道のおかげだと思っています。

**世界を彩る**

ご縁があり、多くの留学生へ生け花を教える機会にも恵まれました。また、イタリアミラノで生け花を披露したこともあります。華道を通して日本の伝統と美意識が世界に伝われば嬉しく思います。

**ちからを合わせて**

市庁舎では、私のほかに海野由紀甫、作田春甫、田村玲甫、田村一美甫、長井尚甫、松田芳甫の7人で生けています。市庁舎を訪れた際には、季節の花々をぜひご覧ください。



**今月の表紙**

『男女共同参画社会』に関する特集ということで、市内に住む親子を撮影しました。一言で男女共同参画といっても、十人十色の考え方があり、実現の理想像もそれぞれ異なりますよね。「こうすれば正解、幸せです」というものがないから難しい。だからこそ、この機会に一人ひとりが考えたり、ほかの人と話し合ったりしてみませんか。みんなが笑顔でいられる、暮らしの形を見つけるために。

**野々市検定回答**

(問題は10ページ)

**【第1問】 B 「男は仕事、女は家庭」と決めつける**

男女が対等な家族の構成員として互いに協力し、役割を果たしながら、仕事や学習、地域活動などができるようにする必要があります。

**【第2問】 D 600**

平成27年9月17日に新庄地内で発生した交通死亡事故以来、交通死亡事故ゼロを継続。今後も気をつけましょう！

**【第3問】 A 立ち上がる**

座りっぱなしの生活をやめることで、健康増進、介護予防を目指そうという思いから宣言されました。

**編集後記**

●愛と和のひと声運動では、キラキラ輝くたくさんの笑顔に出会いました。元氣いっぱいにあいさつする子どもたちの様子はとても微笑ましく、子どもたちとあいさつを交わすと、実に清々しい気分になります。元気を受け取って、取材する足取りも軽やかになりました。38年目を迎えたこの取り組みの歴史に畏敬の念を抱きつつ、これから先も、50年、100年と続いていくことを願います。笑顔輝く『のいちっ子』に明るい野々市の未来を感じた朝でした。  
 (K・N)

●先日、粟田町内運動会で競技として取り入れられた段ボールベッド組み立ての様子取材しました。競技に参加した70人は戸惑いながらもベッドを組み立て、無事に完成した瞬間にはみんな手で手を上げて喜んでいました。このように、運動会などのイベントの一部として防災を学ぶことで、時間が経っても忘れにくく、印象に残る体験ができるのではないかと感じます。トピックスに競技の写真を掲載していますので、ぜひ見てください。  
 (T・K)

**テレビ広報 金沢ケーブルテレビネット**

デジタルハイビジョン009ch  
**のいちふれあい通信**  
 8:00~8:30、18:00~18:30

**ラジオ広報 えふえむ・エヌ・ワン**

FM放送 76.3MHz  
 パソコン、スマートフォンのアプリでも聴けます！  
 FM-N1ホームページからクリック！  
 ▶ <http://fmn1.jp/>

**ホームタウン野々市**

月~金 / 6:30~7:00、11:15~11:55、16:00~17:00